

# 土木交通委員会 請願・陳情一覧

令和2年5月14日(木)

## ○緑政土木局関係

(新規分)

- |           |                                                        |      |
|-----------|--------------------------------------------------------|------|
| 令和2年請願第2号 | 2014年の2月定例会の附帯決議に基づき市長が表明した市道弥富相生山線の道路事業廃止を尊重することを求める件 | 不採択  |
| 令和2年陳情第5号 | 弥富相生山線道路計画の廃止を求める件                                     | ) 採択 |
| 令和2年陳情第6号 | 市道弥富相生山線の道路事業の廃止に関する件                                  |      |

## ○交通局関係

(新規分)

- |           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 令和2年請願第1号 | 地下鉄大須観音駅西側にエレベーターを設置することを求める件 |
|-----------|-------------------------------|

(保留分)

- |           |                                 |      |
|-----------|---------------------------------|------|
| 令和元年請願第4号 | 地下鉄東山線本山駅に早期にエレベーターを設置することを求める件 | ) 採択 |
|-----------|---------------------------------|------|

## 令和2年請願第2号

2014年の2月定例会の附帯決議に基づき市長が表明した市道弥富相生山線の道路事業廃止を尊重することを求める件

請願者 天白区天白町大字野並字相生28番地の341  
相生山緑地を考える市民の会  
共同代表 福 井 清

### 要 旨

2014年12月26日に市長は、市道弥富相生山線の道路事業の廃止を表明した。生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が2010年に名古屋市で行われ、生物多様性・生態系の保全が重要性を増す中、道路の必要性等に鑑みながら市長は決断した。市民の意向に沿ったものと受け止めている。

市長の廃止表明までの経緯として、道路建設の是非については、当初市長は住民投票で判断するとの意向であったが、その後住民意向の調査によって判断することになった。この住民意向を調査する方法等に関し、2014年の2月定例会において、「弥富相生山線の住民意向の調査については、地域の亀裂が入ったり、対立が生じるような手法はとらないこと。」「弥富相生山線の建設工事については、市民に責任を押しつけることなく、市長の責任で決定をすること。」との附帯決議が提出され、自民党、減税日本ナゴヤ、公明党、民主党、新政会、名古屋市民クラブの各所属委員から、いずれも賛成であるとの意見表明がなされて議決された。

以上のように議会の意思が示された後、同年10月11日に名古屋市による住民意向の調査が天白区役所で行われ、その後市長は道路事業の廃止を表明した。議会は当然これを尊重しなければならない。

しかし、2019年の11月定例会において、道路を早期に開通させることを求める令和元年請願第12号を採択したことは、上記の附帯決議に反していると言わざるを得ない。

COP10からの10年間、生物多様性の保全等に関する取組を推進することを目的として国連生物多様性の10年日本委員会が設立され、生物多様性の主流化を目指して2020年を迎え、名古屋市であいち・なごや生物多様性EXPOも開催された。

相生山緑地を横切る都市計画道路の問題解決に向けて、逆戻りすることなく真摯に取り組む姿勢こそが更に求められている。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 2014年の2月定例会の附帯決議に基づき、市長が表明した市道弥富相生山線の道路事業廃止を尊重すること。

弥富相生山線道路計画の廃止を求める件

陳情者 天白区天白町大字野並字相生28番地の341  
相生山の自然を守る会  
代表 近 藤 国 夫

要 旨

人に優しいまちは自然にも優しいまちである。弥富相生山線道路計画の廃止を進めてほしい。20年前、この道路の説明会の際、既に建設反対の声が上がっていた。しかし、環境に配慮した道づくり専門家会主導の下に反対者を排除し、2004年に相生山緑地内の工事が開始された。渋滞緩和、1日1万台の通過車両が見込まれる、地下鉄工事を進めるなど、様々な理由付けをして弥富相生山線の工事に突入した。63年前に都市計画決定された車優先の道路である弥富相生山線は、今、果たして本当に必要だろうか。若者の車離れや高齢化に伴い脱車優先社会と言われるようになった。今からでも遅くはない。立ち止まって考えてほしい。使った時間もお金も無駄ではない。今こそ、人と自然に優しいまちづくりをするときである。無駄な道路はいらない。道路計画の廃止の手続を進めるようお願いする。

弥富相生山線は久方交差点で相生・荒池緑道とつながっている。緑道とは、自動車の通行を抑制し、緑や安全性、快適性を高度に配慮した緑豊かな人間優先のみちと位置付けられている。そして、相生・荒池緑道では、通過車両を少なくする目的で車道の幅を狭め、ベンチも設けた。小中学生の通学路でもあり、憩いの場でもある。1日1万台の通過車両を想定している道路と相容れないことは明らかである。

久方交差点は、2014年に相生小学校の要請で歩車分離式交差点になり、歩行者の安全が確保された。5年後の2025年には相生小学校の児童数が倍増すると思われる。この交差点を避けて相生山団地を通り抜ける車により、団地内の住民やひばり幼稚園に通う園児が危険にさらされている。また、豊田工業大学の学生の往来にも影響を与えている。弥富相生山線が建設された場合、更に危険度が増大する。住民の安全を確保できるのだろうか。

2011年3月に地下鉄桜通線が徳重まで延伸された。市長の発言どおり地下鉄ができたため、野並交差点周辺の東西方向の渋滞は解消されており、2015年度の道路交通センサスによれば、島田交差点及び久方交差点も2010年に比べて交通量が減少している。弥富相生山線の必要性はますます低下した。

2019年1月現在の相生学区の高齢化率は約29.85%である。天白区では、高坂学区、しまだ学区に次ぎ高齢化率の高い地域である。車離れも進み、公共交通機関の増加を望む地域になった。

ふれあいの丘へ東西からつながる園路は道路そのものと思われる。道路は相生山緑地を分断し、自然に負荷を与えることになる。廃止してほしい。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 弥富相生山線道路計画を廃止すること。

市道弥富相生山線の道路事業の廃止に関する件

陳情者 天白区保呂町1309番地  
遠 藤 隆 一

要 旨

天白区の山根学区に住み36年になる。私が移り住んだ当初は、区画整理事業が完了しておらず、周りには何もなかった。そして、道路や家の周りにはキジやタヌキ、ネズミ、蛇が出没する自然が豊かなところ、言い換えれば生活するには不便なところであった。私の子どもは、山根小学校と相生山緑地の中の学童保育所に通い、毎日野山を駆け回って遊んでいた。それは子どもにとってかけがえのない時間だったと思う。便利さの代わりにそのような自然を失ってきたということである。野並に住む知人は、「子どもが3人いるが、相生山のようなところは貴重なのでずっと残してほしい」と言っていた。祖先は、自然を敬い自然と共生してきた。2010年には名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開かれ、生物多様性が叫ばれて、現在に至っている。将来の世代のためにも生物多様性を守り、持続的に利用していく責任があると言われている。市道弥富相生山線については、道路が必要か否かではなく、自然と共生するために道路事業を廃止したと堂々と市民に訴えるべきだと思う。

相生山緑地を横断する道路の事業は、2014年の河村市長の道路事業廃止表明を受けて現在中断されている。これは今でも英断であったと思う。私はずっと道路計画には反対であった。オアシスの森の構想が発表されたときも、これは道路事業の布石ではないかと疑った。そして、道路の着工に至るまでは紆余曲折があった。現在行っている世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議は何のための検討会議か一向に見えてこない。道路廃止の計画を道路建設の業務に携わる者に担当させることに無理があると思う。名古屋市の機関ではなく、独立した第三者機関で行うことを求める。そして、公園事業は継続的に議論し、道路事業は都市計画審議会に諮って速やかに正式な廃止を決めてほしい。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 相生山緑地を横断する市道弥富相生山線の道路事業の廃止を速やかに決定すること。

令和2年請願第1号

地下鉄大須観音駅西側にエレベーターを設置することを求める件

請願者 中区大須一丁目7番40号  
大須観音西側にエレベーターの設置を求める会  
佐藤 るみ子

要 旨

地下鉄大須観音駅は改札から西側の地上に出るまでに78段の階段があり、高齢者やベビーカーを使用する父母たちには大変な負担となっている。車椅子では階段を上ることができないため、大須一丁目方面に行くためには東側のエレベーターを利用して、遠くの横断歩道を渡らなければならない。大須一丁目は住民が多く、また産婦人科の診療所があり、地域の人たちだけではなく遠くから訪れる人や職場に通う人たちも多い。高齢化も進む中、安心して外出できるよう、エレベーターの設置を強く求める。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 地下鉄大須観音駅西側にエレベーターを設置すること。

地下鉄東山線本山駅に早期にエレベーターを設置することを求める件

請願者 千種区池上町2丁目7番地の1 池上住宅305

地下鉄東山線本山駅に早期にエレベーターの設置を求める会

代表 林 玖美子

要 旨

昭和38年に地下鉄東山線池下・東山公園間が開通して56年になる。

名城線本山駅にはエレベーターが設置されているが、これと交差する東山線本山駅には地上へ通じるエレベーターもエスカレーターもない。

平成31年4月1日時点での、本山駅周辺の東山学区、見付学区及び田代学区の高齢化率は約22%と高く、また、千種区の0歳から4歳までの人口6493人のうち約34%がこれらの学区に集中している。そして、今年4月の1か月間の本山駅の乗降者数は約80万人であり、そのうち敬老パスの利用者は約10万人である。

本山駅周辺には、病院、各種診療所、スーパーマーケット、コミュニティセンター、社会福祉協議会のほか、会議室、エレベーター、身体障害者用のトイレを備えたコープあいちの会館もある。そして、マンションの建設に伴い保育所の建設も盛んで、若い人の転入が増えている。

高齢者や障害者に加え、乳幼児を連れてベビーカーを使用する母親等による地下鉄の利用も増え、エレベーターがないことによる事故が起きかねない状況である。

昨年12月に70歳代の女性が東山線本山駅の階段を降りる際、下からたくさんの人が昇ってきたため手すりにつかまろうとしたところ、つかみ損ねて階段から転げ落ち、救急搬送された。もし東山線側にもエレベーターがあれば、事故は起きなかったかもしれない。また、家に閉じこもりがちな高齢者や障害者もあんきに外出できるため消費経済にとってもプラスになり、健康面にも良く、医療費削減にもつながる。

市交通局の計画では東山線本山駅へのエレベーターの設置は、今後3番目に実施される計画で、5年以内に着手されるものと聞いているが、利用できるようになるまでには7年くらいかかりそうである。住民が日々、あんきに利用し生活することができるよう、1日も早く着工するようお願いする。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 地下鉄東山線本山駅に早期に地上に通じるエレベーターを設置すること。

(参 考)

令和元年9月9日 保 留